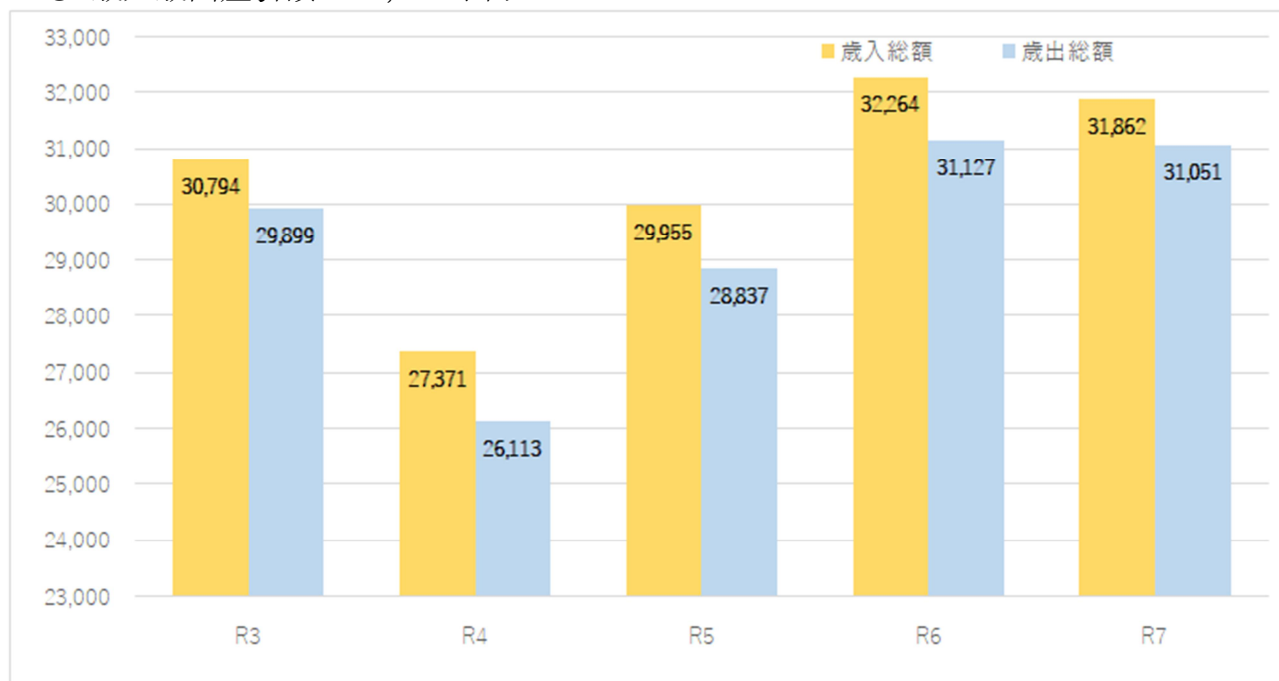


令和 7 年度 決算状況資料【普通会計】

1 歳入歳出決算額と推移 ※決算書に基づく数値

- 歳入決算総額 31,861,519 千円 前年度比△402,574 千円、△1.2%
- 歳出決算総額 31,050,860 千円 前年度比△76,310 千円、△0.2%
- 歳入歳出差引額 810,659 千円



2 収支 ※決算カードに基づく数値(全国統一基準によるもの)にて算出

(後期高齢者医療連合の事業会計に派遣した職員人件費を歳入歳出で控除している)

実質収支は 701,967 千円の黒字、単年度収支は 276,310 千円の赤字となり、実質単年度収支は 260,699 千円の赤字となりました。

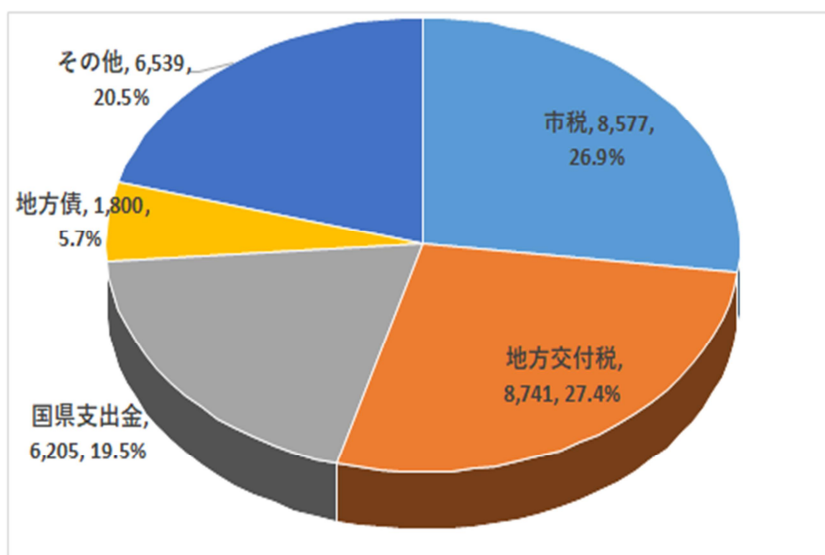
決算収支の状況(単位:千円)		R7	R6
歳入総額	A	31,853,274	32,255,264
歳出総額	B	31,042,615	31,118,341
歳入歳出差引	A-B=C	810,659	1,136,923
翌年度に繰り越すべき財源	D	108,692	158,646
実質収支	C-D=E	701,967	978,277
単年度収支 ※実質収支額-前年度実質収支額	F	△276,310	128,143
積立金(財政調整基金) ※歳計剰余金を除く	G	15,611	8,327
繰上償還金	H	0	0
積立金(財政調整基金)取崩し額	I	0	750,000
実質単年度収支	F+G+H-I	△260,699	△613,530

3 歳入

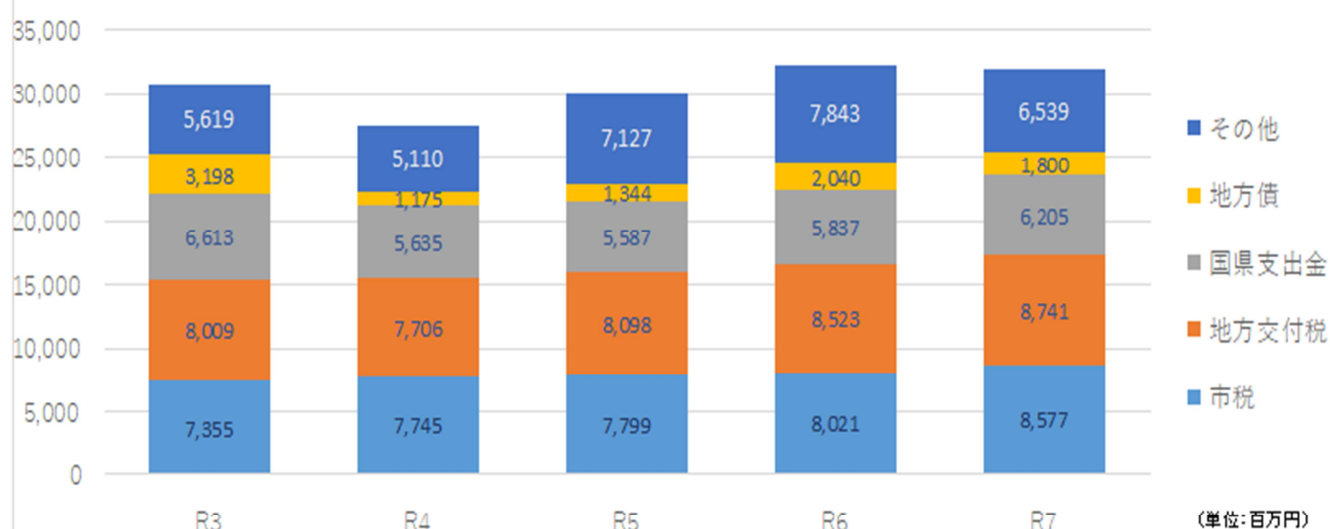
市税は、市民税が 11.5% 増、固定資産税が 4.6% 増となり合計では、前年度比 6.9% 増の 8,577,150 千円となりました。

地方交付税では、普通交付税が 2.0% の増、特別交付税は 8.6% の増となり、地方交付税全体では 2.6% 増の 8,741,159 千円となりました。

市税、地方交付税、各種譲与税・交付金、臨時財政対策債を合わせた主要一般財源総額は 3.2% の増となりました。



歳入の推移

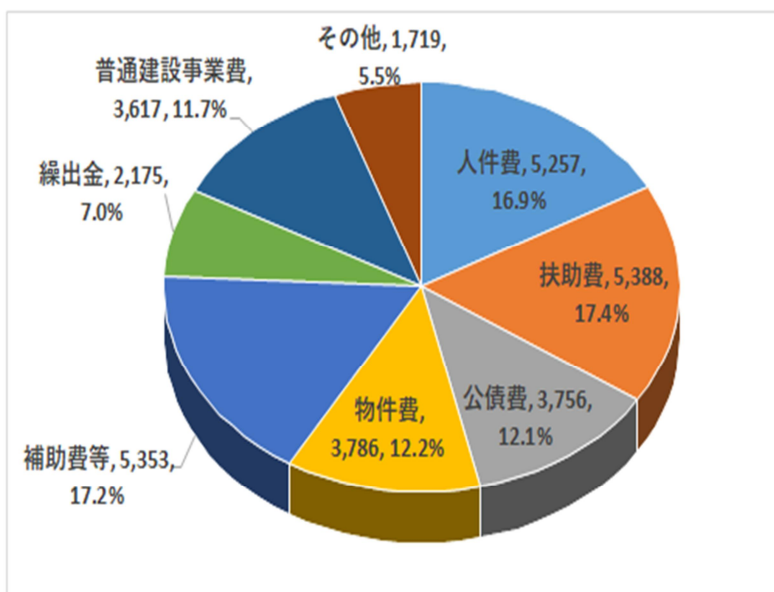


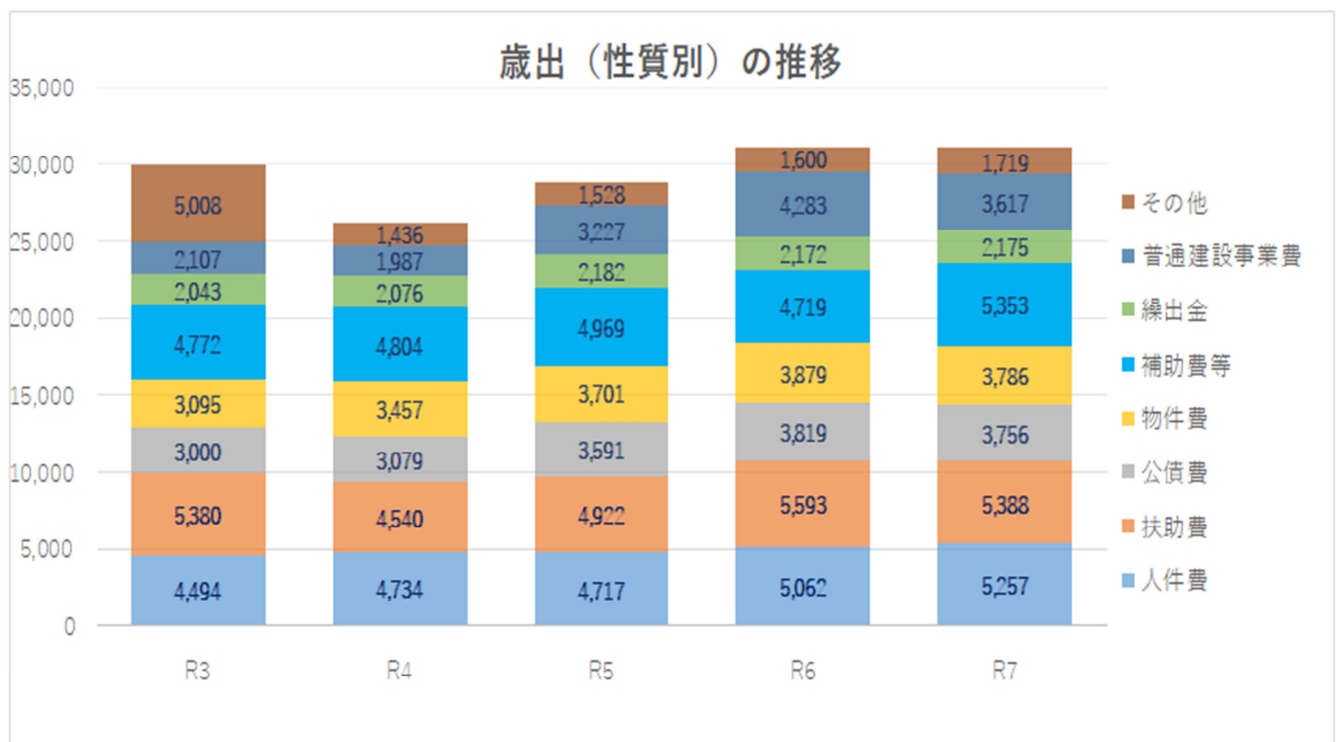
4 歳出

義務的経費では、人件費が増額したものの、扶助費及び公債費が減となり、合計では前年度比 0.5% の増となりました。

物件費では、旧更埴庁舎の解体工事が終了したことによる減など前年度比 2.4% の減、補助費等では、物価高騰対応事業費の増などにより前年度比 13.4% の増となりました。

普通建設事業費では、保育所施設整備事業費や文化会館施設整備事業費の減などにより、前年度比 15.5% の減となりました。





5 主な財政指標

経常収支比率は前年度から 1.2 ポイント下がり 94.0%となりました。

実質公債費比率は前年度から 0.6ポイント上がり 11.8%となりました。

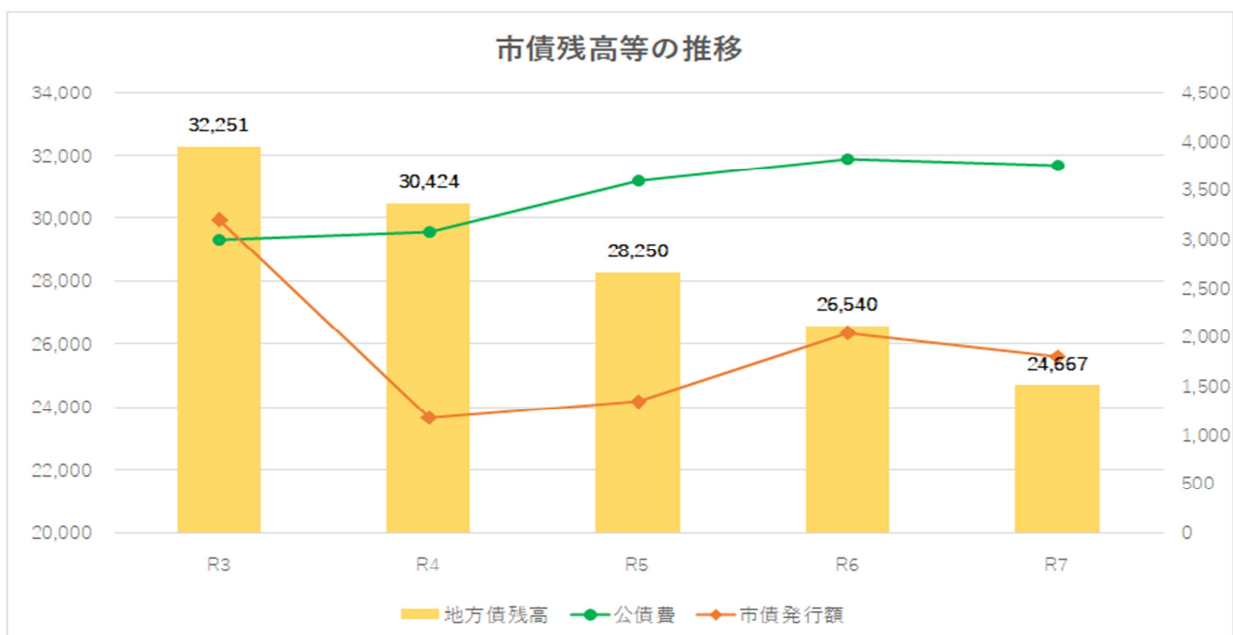
また、将来負担比率は市債残高の減少により 4.2%下がり 0.5%となりました。

6 地方債の状況

公債費は、前年度比 1.6%の減となりました。令和 7 年度末の地方債残高は、前年度比 7.1%減の 24,667,066 千円となりました。

7 基金の状況

財政調整基金残高は、前年度に比べ 11.9%増の 4,839,709 千円となりました。また、財政調整基金、減債基金、特定目的基金を合わせた積立基金の残高は 12,089,856 千円となり、前年度に比べ 0.9%増加しました。



基金残高の推移

